令和7年度事業

三 種 町 教 育 委 員 会

事 務 点 検 ・ 評 価 報 告 書

三 種 町 教 育 委 員 会

もくじ

1　点検・評価の趣旨・実施方法等　　頁　1～2

2　点検・評価の結果

基本政策１　若者の定住促進と賑わいのあるまち［定住・賑わい］

主要施策２【観光資源の充実と交流人口の拡大】

施策項目【★交流人口の拡大】

No.	事業名称	担当係	頁
1	スポーツ文化合宿等誘致推進事業	スポーツ係	3

主要施策３[関係人口拡大と賑わいの創出]

施策項目【★関係人口受入体制の充実】

2	スポーツ大会運営費補助事業	スポーツ係	4

基本政策４　誰もが生涯にわたり学び心豊かに暮らせるまち［教育・文化］

主要施策１【教育環境等の充実】

施策項目【★教育環境、学校教育の充実】

3	学校活動支援補助金等	総務学事係	5
4	学校保健		6
5	スクールバス運行事業		7~8
6	外国青年招致事業・外国語活動支援員		9
7	特別支援教育推進事業・スクールカウンセリング事業		10~11
8	就学援助費制度		12
9	学校備品整備		13
10	学校情報支援員設置事業・教育活動推進員設置事業		14
11	GIGAスクール端末更新事業		15
12	教育環境の整備		16
13	町立学校再編整備事業	学校統合推進室	17~18~19
14	学校給食運営事業	学校給食係	20
15	学校給食の充実		21
16	給食費補助金交付事業		22

施策項目【★学校・家庭・地域の連携推進】

17	安全教育と安全対策の推進	総務学事係	23
18	コミュニティスクール	生涯学習係	24~25
19	三種町学校支援事業		26~27
20	家庭教育講座		28

施策項目【★学生支援体制の充実】

21	奨学資金貸付事業	総務学事係	29
22	奨学金返還助成事業		30

施策項目【〇青少年の健全育成】

23	青少年育成三種町民会議	生涯学習係	31
24	新年書き初め大会		32
25	三種町二十歳のつどい		33

主要施策２【生涯学習・スポーツの推進】

施策項目【〇生涯にわたる学習活動の充実】

No.	事業名称	担当係	頁
26	公民館事業	生涯学習係	34~35
27	三種町生涯学習奨励員協議会		36
28	三種町連合婦人会		37
29	高齢者学習支援事業		38
30	三種町町民祭（文化部門）		39
31	三種町スポーツ・文化栄誉賞		40
32	スポーツ振興事業	スポーツ係	41
33	三種町スポーツ推進委員会		42
34	三種町スポーツ推進審議会		43
35	八竜Ｂ＆Ｇ海洋センター		44
36	地域スポーツクラブ事業		45
37	三種町スポーツ・地域振興推進協議会		46
38	日本体育大学・三種町推進協議会		47
39	三種町スポーツ協会		48
40	三種町スポーツ少年団		49

施策項目【〇社会教育推進体制の整備】

41	読書推進事業	生涯学習係	50
42	ブックスタート事業		51

主要施策３【芸術文化活動の振興と郷土芸能等の継承】

施策項目【〇芸術文化活動の推進】

43	三種町音楽演奏会	生涯学習係	52
44	三種町芸術鑑賞会	生涯学習係	53

施策項目【〇郷土芸能の保存と継承、文化財に親しむ機会の提供】

45	文化振興事業	生涯学習係	54

３　教育委員会の運営状況　　頁　55～60

１　点検・評価の趣旨・実施方法等

（１）点検・評価の趣旨

平成１９年６月、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の一部が改正され、「教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに町民に公表しなければならない。」とされた。

この報告書は、上記法律の規定に基づき教育委員会が作成して議会へ提出するとともに、町民に公表するものである。報告書作成の趣旨は、令和７年度において教育委員会が実施した主要な事業について、その成果を検証・評価し、また、課題を把握して、それを今後の施策に活用しようとするものである。

（２）点検・評価の方針

①点検・評価の対象は、主要事業及び当該年度の重点事業とする。
②事務点検・評価委員による評価について、学識経験者の意見を聴取し、報告書に添付する。
③議会へ報告書を提出する。

> 地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抜粋）
> 第２６条　教育委員会は、毎年、その権限に属する事務〔前条第一項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第四項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。〕の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。
> ２　教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

（３）点検・評価の実施

点検・評価の実施にあたっては、三種町みらい創造プラン「第３編基本計画」の「第１章基本政策」にある「１.若者の定住促進と賑わいのあるまち」、「４.誰もが生涯にわたり学び心豊かに暮らせるまち」に設定している主要施策の現状と課題、５年間の方向性、施策項目に沿って行うものとする。

●基本政策１「若者の定住促進と賑わいのあるまち」
主要施策２　観光資源の充実と交流人口の拡大
主要施策３　関係人口拡大と賑わいの創出

●基本政策４「誰もが生涯にわたり学び心豊かに暮らせるまち」
主要施策１　教育環境等の充実
主要施策２　生涯学習・スポーツの推進
主要施策３　芸術・文化活動の振興と郷土芸能等の継承

※事業費に金額が入っていないものは、事業内容が多岐にわたるものであるため、額として表すことが不可能なものであることをご理解ください。

（４）報告書の作成計画

①令和８年７月１４日
事務点検・評価委員会において、委員より事業内容・実績課題等についての評価及び意見を聴取
②令和８年８月２８日
教育委員定例会で「事務点検・評価報告書」の報告
③令和８年８月３１日
議会へ報告　全議員へ配布
④事務点検・評価報告書の公表（町ホームページへ掲載）

２　点検・評価の結果

基本政策１　若者の定住促進と賑わいのあるまち［定住・賑わい］

主要施策２【観光資源の充実と交流人口の拡大】

施策項目【★交流人口の拡大】

［スポーツ係］

名　　称	スポーツ文化合宿等誘致推進事業	決 算 額	4,498 千円
事業内容	本町におけるスポーツ文化合宿等を積極的に誘致し、交流人口の拡大と地域の活性化を図ることを目的に、合宿、遠征、大会（公式大会を除く）等で町内に宿泊するスポーツ文化団体に対し、宿泊日数に応じて宿泊費の一部を補助する。		
実績報告	令和 7 年度実績 ・団体数　53 団体　（令和 6 年度　63 団体） ・延べ宿泊者数　1,933 名（令和 6 年度　2,045 名） 前年に比べ宿泊団体、延べ宿泊人数ともに減少した。		
課題・ 今後の方針	スポーツ団体等の協力を得ながら合宿や大会等を開催し、来町者の増加が図られるように努める。		
	☑ 継続　☐ 廃止検討　☐ 改善検討　☐ 単年度		
評価委員の意見・評価等	・利用する団体数と宿泊数は減少しているが、スポーツ交流を維持するために継続は必要。 ・１宿泊施設は減ったが、宿泊者数の増加に向けて三種町の支援環境や事業の魅力など、広報活動の工夫に努めてほしい。 ・課題に向け、各種大会、来町者への三種町のアピールを継続してほしい。 ・年々１０団体ほど減少傾向にあるが、今後も継続が必要。		

主要施策３【関係人口拡大と賑わいの創出】

施策項目【★関係人口受入体制の充実】

［スポーツ係］

名　　称	スポーツ大会運営費補助事業	決 算 額	501 千円
事業内容	町独自のスポーツ大会へ運営費を補助し開催することで、町への流動人口の増加と地域の活性化に資する。		
実績報告	令和 7 年度実績 ・高校硬式野球三種町招待試合 ・三種町長杯大学準硬式野球大会 ・三種町長杯大学バスケットボール大会 ・メロンカップ小学生バレーボール交流大会（※助成無し） ・北緯 40 度中学校バスケットボール交流大会（※助成無し）		
課題・ 今後の方針	今後も継続して開催するとともに、主管団体と連携を図りながら広く県内外から来町するよう、更に大会の充実を図りたい。		
	☑ 継続　□ 廃止検討　□ 改善検討　□ 単年度		
評価委員の意見・評価等	・小学生を対象にした新規の大会を開催したことは大いに評価できる。今後も低年齢層に目を向けた大会等の開催を支援していってほしい。 ・県内外からの来町を呼びかけ、地域の活性化に努力してほしい。 ・継続が必要。		

基本政策４　誰もが生涯にわたり学び心豊かに暮らせるまち［教育・文化］

主要施策１【教育環境等の充実】

施策項目【★教育環境、学校教育の充実】

［総務学事係］

名　　称	学校活動支援補助金等	決 算 額	7,373 千円
事業内容	義務教育を受けるために必要な経費を援助することにより、保護者の負担軽減を図る。		
実績報告	・遠距離通学費の補助（小学校４ｋｍ、中学校６ｋｍ以上） 18 名　601,064 円 ・小学校入学児童へのランドセル寄贈 45 個　1,427,800 円 ・自転車用ヘルメット寄贈 小学校 3 年　73 個、中学校 1 年　85 個　計 782,100 円 ・体育文化部活動への旅費等補助 小学校 0 件、中学校 41 件　計 3,732,754 円 ・実用英語技能検定補助 254 名　828,960 円		
課題・ 今後の方針	各学校と連携を密にし、対象者の把握に努め、制度の周知を引き続き行っていきたい。		
	☑ 継続　□ 廃止検討　□ 改善検討　□ 単年度		
評価委員の意見・評価等	・保護者の負担軽減のために継続は必要。 ・英語技能検定は受験者数が増えているので、今後も生徒のやる気を支援するために英語教諭と相談して継続してほしい。 ・義務教育にも経費のかかる時期、保護者の負担軽減を図りながら継続してほしい。 ・子どもの数は減少しているが、継続が必要。		

［総務学事係］

名　　称	学校保健	決 算 額	4,827 千円
事業内容	児童生徒の心身の健康保持増進及び安心安全の確保のため、学校保健安全法等を踏まえて、学校健康診断の実施等、心身の健康保持増進に努める。 学校保健では健康の保持増進をめざした望ましい生活習慣の確立をめざす。		
実績報告	「次代を担う三種の子自立プラン」を受けて、基本的な生活習慣の確立をめざし、各学校で保健指導を充実させ、家庭への発信を意識した取組を進めた。また、小中学校の養護教諭が中心となって、生活習慣の見直しに取り組み、実践を通して子どもたちだけでなく家族の方々の健康意識を高めるなどの大きな成果を挙げた。 ・児童生徒健康診断　907,610 円 ・健診用器具賃貸料　299,139 円 ・学校医・薬剤師（中）1,357,960 円（小）2,261,680 円		
課題・ 今後の方針	基本的な生活習慣の確立は時間を要するため、小中学校で連携して取り組むことが望ましく、また家庭からの協力を得ながら継続していく。		
	☑ 継続　☐ 廃止検討　☐ 改善検討　☐ 単年度		
評価委員の意見・評価等	・家庭の協力が得られるように、リーフレットを分かりやすく工夫したり、ホームページでも詳細を掲示したりしながら健康づくりを継続してほしい。 ・小中の児童生徒の健康保持増進等のため、健康診断等継続してほしい。 ・児童生徒の心身の健康保持増進等の成果が見られており、継続が必要。		

［総務学事係］

名　　称	スクールバス運行事業	決 算 額	26,230 千円
事業内容	琴丘小学校、森岳小学校、山本中学校のスクールバスを運行し、登下校の通学手段として活用するほか、校外学習や各種大会等でも利用する。		
実績報告	スクールバスは、琴丘小学校 1 台（マイクロバス：鯉川方面）、森岳小学校 1 台（マイクロバス：下岩川方面）、山本中学校 2 台（45 人乗り大型バス：下岩川・金岡方面）の計 4 台が、登校時 1 回と下校時 2 回運行し児童生徒の送迎を行っている。特に大きな事故等もなく安全に運行することができた。また、町内外の校外学習にも使用されているほか、各種大会にも運行され、十分活用されている。 ・琴丘小学校スクールバス 1 台の運行日数　276 日 （校外学習 51 日、各種大会 25 日を含む） ・森岳小学校スクールバス 1 台の運行日数　279 日 （校外学習 46 日、各種大会 31 日を含む） ・山本中学校スクールバス 2 台の運行日数　597 日 （校外学習 74 日、各種大会 66 日を含む） 登下校の乗車人数（1 日平均） ・琴小スクールバス鯉川方面　　5 人 ・森岳スクールバス下岩川方面　12 人 ・山中スクールバス金岡方面　　18 人 下岩川方面　　8 人		
課題・ 今後の方針	運転手の人材確保、故障時の迅速な対応が課題である。今後も柔軟な対応をし、バスを有効活用していきたい。		
	☑ 継続　　☐ 廃止検討　☐ 改善検討　☐ 単年度		

評価委員の意見・評価等	・安全確認や乗車指導は、年度当初に行っていると思うが、年度途中（冬季前）にも乗降場所の交通状況やクマ対策、万一の連絡方法の確認など実施してほしい。 ・事故のないよう安全運転をお願いしたい。 ・スクールバスの運行は必要である、継続してほしい。

［総務学事係］

名　　称	外国青年招致事業 外国語活動支援員	決 算 額	19,908 千円
事業内容	外国語教育の充実、国際理解教育の推進のため配置する。		
実績報告	現在、外国語指導助手（ＡＬＴ）は 3 名おり、主に中学校を担当し、小学校も月 4 回程度訪問している。外国語活動支援員もＡＬＴ同様 3 名おり、主に小学校を担当し、中学校も月 4 回程度訪問している。 中学校に 1 名ずつＡＬＴを常駐させ、小学校には外国語活動支援員 3 名を担当させることで、安定した支援を行うことができた。教職員、ＡＬＴ、外国語活動支援員が連携を取り合い、学習の準備を進めることで、小学校での英語の授業にもスムーズに対応できている。 今後は夏休み等を利用し国際イベントを定期的に開催し、授業以外に外国語に触れる機会を増やしていきたい。		
課題・ 今後の方針	英語教育や国際理解教育の充実のため、今後も連携をとりながら、よりよい教育のために検討と実践を重ねていく。		
	☑ 継続　☐ 廃止検討　☐ 改善検討　☐ 単年度		
評価委員の意見・評価等	・国際イベントの開催など、多様な文化に触れる機会を設定していて良い。さらにＡＬＴ３名が英語の授業や諸活動に参加することで、対面・対話の機会が増えると思うので検討してほしい。 ・ＡＬＴや外国語活動支援の配置は今後とも継続してほしい。 ・国際理解教育の環境として必要と思われる。 ・継続が必要。		

［総務学事係］

名　　称	特別支援教育推進事業 スクールカウンセリング事業	決 算 額	60,290 千円
事業内容	支援が必要な児童・生徒が安定した学校生活を送ることができるよう、特別支援教育支援員 24 名を各学校に配置した。 児童・生徒、保護者の相談、通級場所を確保するため「あすなろ教室」に特別教育相談員を配置。山本中学校には不登校児童生徒及びその保護者に対して適切な支援を提供するため、教育支援スタッフを配置した。また、3 中学校にはスクールカウンセラーを配置している。		
実績報告	特別な支援が必要な児童・生徒の通常学級での学習が可能となり、児童・生徒が安定した気持ちで学校生活を送ることができている。 また、八竜公民館内にあすなろ教室を設置することにより、心理的な理由により登校することができない状態にある児童・生徒の通級場所を確保することができた。 そして、各中学校ではスクールカウンセラーによる面談や各種講話会を実施することで、全校体制で生徒の心と体をケアし、いじめや不登校を未然に防ぐ教職員の意識を高めることができた。		
課題・ 今後の方針	児童・生徒が安心して学校生活を送ることができるように支援の充実を図っていく。		
	☑ 継続　☐ 廃止検討　☐ 改善検討　☐ 単年度		
評価委員の意見・評価等	・特別な支援が必要な児童生徒の特性を把握し、保護者と連携しながら安心して生活できるように支援を継続してほしい。 ・校舎に一歩足を運ぶことができるような支援、気持ちを楽に相談できる環境、児童生徒への声掛けを家庭・学校・教委が連携しながら今後も継続していくことが必要。		

	・支援が必要な児童生徒が不登校児童生徒に移行しないよう、支援の充実を継続してほしい。 ・継続が必要。

［総務学事係］

名　　称	就学援助費制度	決 算 額	2,948 千円
事業内容	町内の小中学校に在籍している児童生徒のうち、経済的な理由で就学困難と認められる者を、申請により要保護・準要保護児童生徒に認定し、その保護者に対して就学に必要な援助を行う。就学援助費の項目は、学用品費・通学用品費・校外活動費・新入学用品費・体育実技用品費・修学旅行費・学校給食費・医療費・児童生徒会費・ＰＴＡ会費・クラブ活動費の 11 項目となっており、義務教育を円滑に行うことを目的とする。要保護については 1/2 国庫補助事業、準要保護は町単独事業。		
実績報告	各小中学校及び関係機関と連携し、援助が必要な児童生徒の把握に努め、円滑な義務教育に資することができた。 小学校：924,690 円、中学校：2,022,550 円		
課題・ 今後の方針	町広報やホームページにより、制度の周知を引き続き行っていきたい。		
	☑ 継続　□ 廃止検討　□ 改善検討　□ 単年度		
評価委員の意見・評価等	・保護者の目に届くような町、学校の広報やホームページの工夫を継続してほしい。 ・制度の周知を継続しながら、保護者への就学に必要な援助を継続してほしい。 ・継続が必要。		

［総務学事係］

名　　称	学校備品整備	決 算 額	8,356 千円
事業内容	小中学校の老朽化した備品を整備することにより、学校教育の充実を図る。また、小中学校の校務用ＰＣ、コンピュータ室用ＰＣを更新し、新たに三種中学校のプリンタ、ＳＴＥＡＭプラザのＰＣを整備する。		
実績報告	【小学校】14 件　1,142,494 円 ・湖北小学校　校長室エアコン　264,000 円 ・湖北小学校　ＦＦ式石油暖房機　191,400 円　等 【中学校】5 件　999,185 円 ・八竜中学校　体育館石油暖房機　730,950 円 ・山本中学校　砲丸投げ用移動式サークル　92,180 円　等 【更新：三種中学校】6 件　96,213,700 円 ・校務用ＰＣ　40,965,980 円 ・校内アクセスポイント　5,032,500 円 ・小学校コンピュータ室用ＰＣ　30,179,820 円 ・三種中学校 STEAM プラザ用ＰＣ　14,368,200 円 ・三種中学校職員室プリンタ　2,700,500 円 ・設置・設定料金　2,966,700 円		
課題・ 今後の方針	学校の再編を念頭に置きながら、教育環境の整備を行う。		
	☑ 継続　☐ 廃止検討　☐ 改善検討　☐ 単年度		
評価委員の意見・評価等	・学校備品の修理や新設、先進的な機器の整備など、学校事情に合わせた取り組みが見られる。 ・教育環境の整備は、児童生徒に必要。町で予算措置を継続してほしい。 ・備品の更新等は継続が必要。		

［総務学事係］

名　　称	学校情報支援員設置事業 教育活動推進員設置事業	決 算 額	15,410 千円
事業内容	ＩＣＴ教育を支援するため、学校情報支援員２名を配置している。また、教育活動推進員をあわせて配置し、学校のＩＣＴ環境を最大限に活用するために『笑顔の三種』を発行し、活用事例等を紹介している。		
実績報告	ＧＩＧＡスクール構想に基づき、児童生徒１人１台の端末整備を行っている。令和４年度から電子黒板の整備計画を進めており、小学校統合時に普通教室等・特別教室へもれなく配置できる台数を確保している。 ＩＣＴ教育では、学校情報支援員が機器の準備や操作、学習活動のサポートを行うことにより、１人１台端末の積極的な活用が進んでいる。また、教育活動推進員からＩＣＴ機器の活用事例を定期的に学校へ周知することで、教員が活用方法を把握しやすい環境が整備された。 電子黒板整備事業 ・液晶ディスプレイ一体型電子黒板　9 台　7,246,800 円		
課題・ 今後の方針	タブレット端末を活用した授業に加え、デジタル教科書や教材等を導入し、引き続きＩＣＴ教育を推進していく。		
	☑ 継続　☐ 廃止検討　☐ 改善検討　☐ 単年度		
評価委員の意見・評価等	・ＩＣＴ教育の充実に向けて、先進的な端末機器やソフトに合わせて、対応する知識・技術を有する支援員の設置を今後も継続していくことが必要。 ・時代のニーズに対応している町の教育環境が素晴らしい。 ・デジタル教育を積極的に進める必要があり、継続が必要。		

［総務学事係］

名　　称	GIGA スクール端末更新事業	決 算 額	43,519 千円
事業内容	耐用年数を迎えたＧＩＧＡスクール端末を更新し、学習活動に必要な性能を確保する。また、端末の処理性能向上によりクラウド教材・動画・共同編集等の学習活動を円滑に実施できる環境を整備する。		
実績報告	秋田県の共同調達により、児童生徒１人１台の端末更新を計画どおり実施することができた。また、起動時間の短縮や動作の安定化により、授業中のＩＣＴ活用がスムーズになった。 ○秋田県公立学校における１人１台端末の購入 734 台×59,290 円＝43,518,860 円		
課題・ 今後の方針	端末更新により学習環境が整ったため、今後は教員研修や活用事例の共有をさらに充実させる必要がある。		
	☐ 継続　☐ 廃止検討　☐ 改善検討　☑ 単年度		
評価委員の意見・評価等	・小 45 分、中 50 分の授業時間の中で端末操作に時間をかけずにスムーズ、かつ教育効果を高めるような研修と端末の更新を継続する。 ・教師の研修等に大いに役立ててほしい。 ・継続が必要。		

［総務学事係］

名　　称	教育環境の整備	決 算 額	25,680 千円
事業内容	児童生徒が安心して学習できる環境を整備するため、学校施設の老朽化や学校統合計画などを考慮しながら、必要に応じた改修工事等を行い、教育環境の向上と安全確保に努める。		
実績報告	【小学校修繕料】　47 件／支出額：2,718,802 円 【小学校改修等工事】 9 件／支出額：16,540,810 円 ○主な事業 ・琴丘小学校自動火災報知設備配線等改修工事　6,583,500 円 ・琴丘小学校体育館自動火災報知設備配線等改修工事　2,640,000 円 ・琴丘小学校昇降口建具改修工事　2,446,400 円 ・小学校遊具撤去工事（浜口小学校・湖北小学校）　803,000 円 ・湖北小学校体育館照明器具交換工事　595,100 円 【中学校修繕料】　27 件／支出額：2,158,989 円 【中学校改修等工事】 2 件／支出額：4,260,740 円 ○主な事業 ・山本中体育館換気扇設備改修工事　3,241,000 円 ・八竜中雨漏り改修工事　839,740 円		
課題・ 今後の方針	施設老朽化が目立ち、修繕費や工事費が毎年増加してきている。必要な修理箇所の迅速な把握と、きめ細やかな対応に努める。		
	☑ 継続　□ 廃止検討　□ 改善検討　□ 単年度		
評価委員の意見・評価等	・熱中症対策のエアコンの整備や校舎等の修繕、クマ対策など安全・安心な環境整備を継続する。 ・教育環境は児童生徒（教師含む）が安心して生活できる場所への保障が必要だと思う。災害時の安全確保にもつながる。 ・修繕、補修は早めに対応することが必要であり、継続が必要。		

［学校統合推進室］

名　　称	町立学校再編整備事業	決 算 額	4,581,564 千円
事業内容	○三種町立小・中学校統合検討委員会等報償費　90,000 円 （1）統合小学校関係 校章、校歌等の決定　他 （2）統合中学校関係 三種中学校校舎等の完成 三種中学校スクールバス運行計画作成　他 **★統合小学校関係** ○校章公募報償品、校歌作成報償費、消耗品費、表彰状筆耕料、校章デザイン業務　1,180,128 円 **★統合小学校整備関係** ○山本小学校プール建設予定地の地質調査業務　3,284,600 円 **★統合中学校関係** ○消耗品費、部活動用消耗品費、印刷製本費、光熱水費（電気料）、コピーチャージ料、通信運搬費、手数料、コピー機・印刷機借上料、部活動用備品　4,225,569 円 **★統合中学校整備関係** ○消耗品費、統合中学校建設に伴う確認申請手数料他、統合中学校建築工事監理業務他、施設備品、スクールバス、校務ＤＸ・ＳＴＥＡＭ教育端末備品、水道加入金、電柱移設補償費　200,672,391 円 【工事関係】 ○三種町立統合中学校校舎棟等建築工事(R6～R7) R7　2,762,357,400 円 ○三種町立統合中学校校舎棟等電気設備工事(R6～R7) R7　429,000,000 円		

	○三種町立統合中学校校舎棟等機械設備工事(R6～R7) R7　441,100,000 円 ○三種町立統合中学校ｸﾞﾗｳﾝﾄﾞ整備・法面保護工事(R6～R8) R6(逓次繰越)　50,988,000 円 R7　45,100,000 円 ○三種町立統合中学校ﾃﾆｽｺｰﾄ・駐車場整備工事(R6～R7) R6(逓次繰越)　50,820,000 円 R7　123,843,500 円 ○三種町立統合中学校ﾃﾆｽ部室・ﾛｰﾀﾘｰ雁木建築工事(R7) 96,901,200 円 ○三種町立統合中学校ﾃﾆｽ部室・ﾛｰﾀﾘｰ雁木電気設備工事(R7) 12,749,000 円 ○三種町立統合中学校ﾃﾆｽ部室機械設備工事(R7) 24,750,000 円 ○三種町立統合中学校共励館改修建築工事(R7) 140,896,800 円 ○三種町立統合中学校共励館改修電気設備工事(R7) 18,742,900 円 ○三種町立統合中学校共励館改修機械設備工事(R7) 35,633,400 円 ○三種町立統合中学校多目的広場整備工事(R7) 139,229,200 円
実績報告	中学校統合、及び山本・八竜地域の小学校統合に向け、小・中学校長、児童生徒の保護者、学識経験者等からなる「三種町立小・中学校統合検討委員会」を組織し、小中学校の統合準備を進めた。 統合小学校関係では、校章、校歌等について決定された。

	統合中学校関係では、スクールバス運行計画等について決定された。 工事関係では、令和6年度から令和7年度（グラウンド整備は令和8年度）の継続事業として「三種町立統合中学校校舎棟等建築工事」他4件について引き続き工事を進めた。 また、令和7年度事業として「ﾃﾆｽ部室・ﾛｰﾀﾘｰ雁木建築工事」「共励館改修建築工事」「多目的広場整備工事」などを発注し、工事が完了した。
課題・ 今後の方針	令和8年度も小・中学校統合検討委員会を組織し、統合小学校改修工事の推進、及び小学校の統合に関する準備を進め、令和9年度の統合小学校開校をめざす。
	☑ 継続　☐ 廃止検討　☐ 改善検討　☐ 単年度
評価委員の 意見・評価 等	・統合に向けた組織や教育環境の整備が順調に進んでいるので、引き続き本事業の継続が必要。 ・三種中学校の完成、スタートに安心した。引き続き、小学校の統合開校がスムーズにいくよう願っている。 ・小学校の統合に向けた整備予算は必要であり、継続すべき。

[学校給食係]

名　　称	学校給食運営事業	決 算 額	38,207 千円
事業内容	安心して子どもを産み育てることができる環境づくりを促進し、保護者の経済的な負担軽減を図るため、児童生徒の給食費負担金を全額免除とした。		
実績報告	児童生徒に必要な栄養価を確保するとともに、給食費負担金を免除することにより子育て世帯の経済的な負担軽減につながっている。		
課題・ 今後の方針	食材の価格の状況を踏まえながら、成長期の児童生徒に必要な栄養価の確保を行っていく。		
	☑継続　　☐ 廃止検討　☐ 改善検討　☐ 単年度		
評価委員の意見・評価等	・給食費全額免除は、家庭の負担軽減に繋がっているため継続が必要。 ・物価高の中で、限られた予算で栄養価のある給食提供に感謝するとともに、美味しい給食づくりご苦労様です。 ・安全、安心な給食の提供と各家庭の負担を軽くすることからも継続すべき。		

[学校給食係]

名　　称	学校給食の充実	決 算 額	0 千円
事業内容	学校給食の食材として地場産物（秋田県内産物）を積極的に取り入れ、地域の旬の食材や伝統食を取り入れるよう推進する。 ・ノロウイルスをはじめとした全ての食中毒防止のため、衛生管理の徹底。 ・異物混入を防止するため厨房設備点検の徹底。 ・ アレルギーのある児童・生徒へのアレルギー食の個別対応。		
実績報告	・三種町の地場産物利用状況（野菜 15 品目）は 18.9%。天候不順等により昨年度の 24.9%より低くなっている。 ・ノロウイルスをはじめとした食中毒の発生はなかったが、虫などの異物混入が 8 件あった。調理員及び納入業者には、再発防止についての対策をするよう指導を行った。 ・アレルギー食・特別食対応児童生徒数は 19 名。		
課題・ 今後の方針	・地場産物は、生産者の高齢化や天候不順などにより利用率が下がってきている。納入業者との話し合いの場で、今後もできるだけ地場産の野菜を納入してもらえるようにお願いした。 ・食中毒、異物混入が起こらないよう、今後も衛生管理と施設点検を徹底していく。 ・アレルギーで事故が起こらないよう、安全性を最優先して対応していく。		
	☑継続　　☐ 廃止検討　☐ 改善検討　☐ 単年度		
評価委員の意見・評価等	・地場産物の積極的な利用に向けて、いろいろと考えて対応しているので、今後も継続してほしい。 ・特別食等を作る時や提供する際は複数の目でチェックし、万一アレルギー反応が起こった時の対応について研修が必要。 ・地場産野菜の納入をできる限り利用してもらいたい。 ・地域の旬の食材・伝統食を継続して献立に取り入れてほしい。 ・食材のチェックを厳しくして継続すべきである。		

[学校給食係]

名　　称	給食費補助金交付事業	決 算 額	248 千円
事業内容	安心して子どもを産み育てることができる環境づくりを促進し、保護者の経済的な負担軽減を図るため、三種町内に住所を有し、町外の小中学校に通学している児童生徒の保護者へ学校給食費の補助を行っている。		
実績報告	町外の小中学校に通学する 10 名のうち、公費等で給食費の給付を受けていない 5 名へ補助金を交付した。		
課題・ 今後の方針	公費の負担の状況が年度により変わること、また給食費を無償化する市町村が増えてきているため、保護者や学校、市町村と連絡を取り合いながら対象者の把握に努めたい。		
	☑継続　　☐ 廃止検討　☐ 改善検討　☐ 単年度		
評価委員の意見・評価等	・他地区との連絡調整を図りながら事業の継続が必要。 ・給食補助金の交付は保護者にとってありがたい事業だと思うので、継続してほしい。 ・町外へ通学している子どもたちには補助金が必要と思われるので、継続が必要。		

施策項目【★学校・家庭・地域の連携推進】

［総務学事係］

名　　称	安全教育と安全対策の推進	決 算 額	243 千円
事業内容	家庭、保護者、地域住民、スクールガード等の連携により、地域ぐるみで学校の安全な環境づくりを推進する。		
実績報告	防犯教室、交通安全教室、避難訓練など日常的に安全指導を行い、児童が様々なケースに対応できるよう訓練を実施している。また、スクールガード等により、登下校時の見守りがあるため、安心して登下校ができている。 小学校新入学児童には、防犯ブザーを支給し、危険を回避できるよう努めた。 「子供 110 番の家」については、各学校からリストを提出してもらい、能代警察署へ提供し、情報の共有化を図っている。 ◆主な事業 地域ぐるみの学校安全体制整備推進事業（県 32,000 円） 報償費:177,000 円(スクールガードリーダー分)　　保険料：65,644 円		
課題・ 今後の方針	見守り隊員の高齢化による登録者の減少が続いており、新たな見守り隊員の確保が課題となっている。		
	☑ 継続　□ 廃止検討　□ 改善検討　□ 単年度		
評価委員の 意見・評価等	・通学の安全・安心に向けて、見守り隊員の募集や各地区への協力依頼、通学路の点検などを継続してほしい。 ・防火扉や消火栓の使用について消防署の協力を得ながら職員研修を行うことが必要。 ・見守り隊員の確保も必要だが、地域あるいはボランティア団体との連携も必要な時期にきているのではないか。協力可能な団体との話し合いの機会があればいいと思う。 ・見守り隊員の存在は大きく、安心できる。隊員の確保に努めながら、維持することが必要。		

［生涯学習係］

名　　称	コミュニティスクール	決 算 額	220 千円
事業内容	①校長が作成する学校運営の基本方針を承認すること ②学校運営に関する意見を教育委員会または校長に述べること ③教職員の任用に関して教育委員会に意見を述べること　の３つの役割のもと、保護者・地域・学校が学校運営に参画。学校問題や地域問題の解決に向け「学校と地域が連携・協働し、何ができるか」という視点で協議する場。この学校運営協議会制度を導入した学校がコミュニティスクールとなり､「地域とともにある学校づくり」「学校を核とした地域づくり」を目指すもの。		
実績報告	●森岳小学校学校運営協議会 第１回　令和７年６月 11 日（水） 第２回　令和７年 10 月 29 日（水） 第３回　令和８年２月 20 日（金） ●琴丘・山本・八竜中学校学校運営協議会 令和８年度開校に向けて、現中学校それぞれ特色を活かした学校運営を引き継ぐことを目的に３地区合同で開催。 第１回　令和７年６月 23 日（月） 第２回　令和７年９月 30 日（火） 第３回　令和８年２月 25 日（水）		
課題・ 今後の方針	●森岳小学校 次年度の閉校に向けて更なる連携と取組みを進めるとともに、令和９年度の小学校統合を見据え、学習指導や地域連携を含め、様々な活動交流等を計画している。 ●琴丘・山本・八竜中学校 子どもたちの自主性を活かした総合的な学習、伝統芸能の継承、部活動の在り方等、地域全体で三種中を作り上げていくことが必要。		

	☑ 継続　　☐ 廃止検討　☐ 改善検討　　☐ 単年度
評価委員の意見・評価等	・家庭と学校、地域が様々な学習や活動、課題を共有しながら児童生徒を支援していけるような組織運営を継続していくことが必要。 ・琴丘・山本・八竜中学校運営協議会を経て統合中学校が開校へ。森岳小学校も統合に向けた協議会でスムーズに開校できるようにと願っている。 ・継続していくことが必要。

［生涯学習係］

名　　称	三種町学校支援事業	決 算 額	1,230 千円
事業内容	学校・家庭・地域が一体となり、みんなで支える学校・みんなで育てる子どもの体制づくりのため、地域の教育資源を活用したふるさと教育の充実を図る。		
実績報告	**主な活動内容** **〇琴丘小学校** シイタケ植菌作業、環境学習（はちろうプロジェクト)、田植え・稲刈り、中舘番楽、スキー合宿、スケート教室等 **〇森岳小学校** 見守り活動、サツマイモ苗付け・収穫、花壇苗植栽、森岳歌舞伎、読み聞かせ、じゅんさい摘み取り体験、なべっこ会、麦巻きづくり、豆腐づくり、おにぎりづくり等 **〇金岡小学校** 正課クラブ（茶道・生け花・卓球・昔遊び)、じゅんさい摘み取り、家庭科学習ミシン体験、読み聞かせ、サツマイモ掘り、なべっこ会、麦巻き・パンづくり、相撲練習会等 **〇浜口小学校** 見守り活動、交通安全教室、釜谷浜合同クリーンアップ、八郎湖環境学習・水草植え、クラブ（獅子舞、音楽、スポーツ、茶道)、地域合同避難訓練、サツマイモ販売等 **〇湖北小学校** 交通安全自転車教室、車いす・アイマスク体験、砂像作り体験、サツマイモ苗植え、枝豆種まき、豆腐作り、茶道体験、田植え体験、木工教室、はちろうプロジェクト学習等		

	〇琴丘中学校 伝統芸能の練習・発表、キウイ収穫体験、租税教室、総合学習学年発表会、保育園訪問、麦巻き、大学芋づくり、きりたんぽ鍋づくり等 **〇山本中学校** 花いっぱい運動、森岳歌舞伎の練習・発表、ようこそ先輩講演会、総合学習学年発表会、きりたんぽづくり、おやきとぼた餅づくり、巻きずし・麦巻きづくり等 **〇八竜中学校** 花壇整備作業、釜谷浜クリーンアップ、総合的な学習、親子協働奉仕作業、砂像づくり、麦巻き・巻きずしづくり等 子どもたちが地域と関わる機会、ふるさとを学ぶ体験に取り組み、地元の自然や歴史・文化を学びながら、ふるさとへの愛着や社会参画力を育成した。
課題・ 今後の方針	引き続き、地域と学校の協働活動を支援していく。
	☑ 継続　☐ 廃止検討　☐ 改善検討　☐ 単年度
評価委員の意見・評価等	・各小中学校が特色ある活動を実施する際に本事業は有効に活用されているので、継続が必要。 ・地域に根ざした学校の協働活動を継続してほしい。 ・地域・学校・家庭の協働活動は大切であり、継続すべき。

［生涯学習係］

名　　称	家庭教育講座	決 算 額	40 千円
事業内容	乳幼児期から家庭教育支援への取り組みを進め、子育ての不安を解消し、家庭・学校・地域の連携をもとに交流し、家庭教育力の充実を図る。		
実績報告	小学校や子育て支援センター、松庵寺等を会場として家庭教育講座を行った。 講座内容：保健講話、食育＆親子体操教室、心身リフレッシュ講座等		
課題・ 今後の方針	時代によって移り変わる課題に沿って、より充実した講座の開催ができるよう講師の選定などを工夫していきたい。		
	☑ 継続　☐ 廃止検討　☐ 改善検討　☐ 単年度		
評価委員の意見・評価等	・相談活動も充実させながら講座を継続していくことが必要。 ・家庭教育への支援を継続することは、子ども一人ひとりを大事にしていくことに繋がっていくので、町民の一人としてもありがたい講座であり、必要とする。 ・家庭教育は重要課題であり、継続すべき。		

施策項目【★学生支援体制の充実】

［総務学事係］

名　　称	奨学資金貸付事業	償還額：5,855 千円 貸与額：15,320 千円
事業内容	町の未来を担う子どもたちへの就学支援と人材育成を目的として、町内に住所を有する学生（高校・高専・短大・専門・大学）に対し、奨学資金貸付基金により奨学金を貸与する。	
実績報告	令和 7 年度は、9 名の申し込みがあり、9 名を奨学生として採用した。	
課題・ 今後の方針	貸与者の償還の遅れや滞納等の問題があるので、本事業を維持するため、滞納者への家庭訪問や督促の発送を行うほか、返還に対する指導が必要である。	
	☑ 継続　□ 廃止検討　□ 改善検討　□ 単年度	
評価委員の意見・評価等	・奨学生は増えている。進学希望を支援するとともに、家庭の負担を軽減するためにも事業の継続は必要。 ・貸与者には将来を見通した償還計画や事例の紹介など、滞納者を減らすための取り組みが必要。 ・滞納問題を早期に改善してほしい。 ・家庭の負担軽減措置のためにも必要な事業であり、継続すべき。	

［総務学事係］

名　　称	奨学金返還助成事業	決 算 額	551 千円
事業内容	次代を担う若者の人材確保や定住促進等のために、高校や大学を卒業し、地元で就職しながら奨学金を返還している方へ助成。年間返還額に対し、10 万円を上限に 1/3 の助成を 5 年間実施。		
実績報告	R7　551,000 円（8 件）		
課題・ 今後の方針	周知方法に課題		
	☑ 継続　□ 廃止検討　□ 改善検討　□ 単年度		
評価委員の意見・評価等	・町広報やホームページでの紹介、奨学金貸与時の説明など、情報提供の仕方を工夫しながら事業を継続してほしい。 ・周知方法が課題とあるが、事業内容は返還する方にきちんと伝わっているのか、確認が必要である。 ・継続すべき。		

施策項目【〇青少年の健全育成】

［生涯学習係］

名　　称	青少年育成三種町民会議	決 算 額	172 千円
事業内容	青少年の人間形成の重要性に鑑み、広く町民の総意を結集し青少年の健全育成を図る。		
実績報告	あったか声かけ運動は、8 月と 3 月の 2 回実施され、青少年の非行防止及び社会環境の浄化に資することができた。また、県や関係団体が主催する会議等にも積極的に参加し、活発な意見交換や情報収集が行われた。 9 月 26 日（金）通勤通学あったか声かけ運動 （鹿渡駅・森岳駅・北金岡駅） 3 月 16 日（月）通勤通学あったか声かけ運動 （鹿渡駅・森岳駅・北金岡駅）		
課題・ 今後の方針	引き続き、青少年の健全育成を目標に事業の実施に取り組んでいきたい。今後も、啓発効果だけでなく児童生徒の学校生活を豊かにできるような活動を考えていきたい。		
	☑ 継続　☐ 廃止検討　☐ 改善検討　☐ 単年度		
評価委員の意見・評価等	・今年度は町内３駅での活動となり、地域全体で温かい声掛けができているので、今後も継続してほしい。 ・『あったか声掛け運動』に協力している一人だが、駅に出向いても青少年が少なく、児童生徒への声かけ運動（あいさつ運動）を検討してみたらどうか。 ・声かけ運動は必要であり、継続すべき。		

［生涯学習係］

名　　称	新年書き初め大会	決 算 額	43 千円
事業内容	新たな年の初めに、この一年の書道上達を願い、新年書き初め大会を実施している。大会は、小・中学生が参加し交流の場にもなっている。		
実績報告	令和 8 年 1 月 6 日（火）、山本公民館講堂で開催した。 参加者は、小学生 24 名、中学生 2 名。 大会当日から 9 日間、山本公民館に作品を展示した。		
課題・ 今後の方針	毎年参加者も多く、児童生徒の意欲的な取り組みがみられるため、今後も開催方法等を工夫しながら事業を継続していきたい。		
	☑ 継続　☐ 廃止検討　☐ 改善検討　☐ 単年度		
評価委員の意見・評価等	・高校生の参加はなかったので、町広報やホームページの活用、以前参加したことのある生徒への案内状の送付など工夫をしながら参加を呼びかけて欲しい。 ・書道で活動している人を招いての実演など、書道への興味・関心・意欲をもたせるような取組も考えて欲しい。 ・書道に興味・関心のある児童生徒の上達を願い、年初めに開催する企画はよく、作品を展示するのもよい。中学生の参加者が少ないことが課題と思う。 ・書道の上達及び交流の面でも必要であり、継続すべき。		

［生涯学習係］

名　　称	三種町二十歳のつどい	決 算 額	363 千円
事業内容	青少年の社会的自立を促すため、対象者による二十歳のつどい実行委員会を組織し、式典の企画立案や運営を行った。		
実績報告	令和 7 年度は、8 月 15 日（金)、山本ふるさと文化館を会場に開催した。 令和 7 年度対象者　110 名（男 70 名、女 40 名） 令和 7 年度参加者　　77 名（男 54 名、女 23 名）		
課題・ 今後の方針	実行委員が県外在住になると、参加できない場合があるので、リモート開催を検討をしていく。 参加者への案内を往復はがきで出したが、今後は LOGO フォーム等を活用していきたい。		
	☑ 継続　　☐ 廃止検討　☐ 改善検討　☐ 単年度		
評価委員の意見・評価等	・町広報やホームページの活用、リーフレットを中学校卒業時に渡すなど工夫してほしい。 ・110 名中 77 名の参加は継続する意義がある。リモート開催・案内の見直しも賛成する。 ・十分に協力して開催できるようにし、継続すべき。		

主要施策２【生涯学習・スポーツの推進】

施策項目【〇生涯にわたる学習活動の充実】

［生涯学習係］

名　　称	公民館事業	決 算 額	107 千円
事業内容	生涯にわたり、生きがいと潤いのある生活を営めるよう自発的かつ継続的に行える学習の支援に努め、各種講座や学習会を開催する。		
実績報告	［山本公民館］（講師謝礼 67 千円） ・はじめての韓国語講座　8/1 開催　4 人参加 ・じゅんさい踊りと盆 dance　7 月～10 月の第 2・第 4 水曜日開催　延べ 75 人参加 ・体幹トレーニング男塾　10/9・10/25 開催　延べ 8 人参加 ・凧づくり教室　12/27 開催　11 人参加 ［八竜公民館］（講師謝礼 40 千円） ・地域と共に進める参加型の防災　11/18 開催　30 人参加 ・色鉛筆画教室　3/23 開催　12 人参加 ［琴丘公民館］ ・はじめての韓国語講座　8/8 中止（大雨により講師都合）申込者 2 人 ・読み聞かせを楽しもう（県庁出前講座により 0 円）3/24 開催　12 人参加 ［山本公民館まつり］ 11 月 23 日、山本公民館において第 13 回山本公民館まつりを開催し 250 人が訪れた。展示部門ではみたね森岳凧やステンドグラスなどが並び、発表部門ではフラダンスや読み聞かせ（人形劇）などが出演。また、公民館まつりでの活躍を撮影した写真展を 1 月 15 日～3 月末まで開催した。		

課題・ 今後の方針	地域の人材がもつ豊富な経験や知識、学習の成果を活かせる機会を増やしていきたい。
	☑ 継続　☐ 廃止検討　☐ 改善検討　☐ 単年度
評価委員の意見・評価等	・町民のニーズに応えた講座や学習会、発表する場があることは生きがいづくりにもつながっているので継続してほしい。 ・各公民館事業にバラつきがあり、事業を年 3～4 回などの企画が必要と思う。年度末にアンケートや企画に参加した方の意見を参考にするのもよいと思う。 ・地域の人材を活用しながら継続すべき。

［生涯学習係］

名　　称	三種町生涯学習奨励員協議会	決 算 額	198 千円
事業内容	「学びの伝道師」として地域住民に学習の機会を与え、普及推進活動に努める。		
実績報告	生涯学習奨励員 11 名。 県や郡市で開催される各種研修会へ参加し、奨励員としての見聞を広げた。町民ひとり一学習を目指し、活動や学校支援事業へのボランティアリーダーとして協力した。		
課題・ 今後の方針	引き続き住民の学習要望に対応した生涯学習の推進体制づくりに努める。 人材を発掘し人員確保を図ると共に、独自イベントの開催を模索する。		
	☑ 継続　□ 廃止検討　□ 改善検討　□ 単年度		
評価委員の意見・評価等	・様々な活動のリーダーとして活躍しているので、継続が必要。 ・課題や今後の方針に沿い、継続でよい。 ・人材の確保をしながら活動に努めてもらうよう継続すべき。		

［生涯学習係］

事 業 名	三種町連合婦人会	決 算 額	300 千円
事業内容	女性の地位向上と、積極的に社会参加できる環境づくりに努め、関係する団体への情報提供などを行い、支援・連携を図る。		
実績報告	研修会やボランティア活動など、地域のための様々な活動を実施し、婦人会会員相互の親睦を深めている。 秋田県婦人会大会への参加、消費者問題研修会の開催等多岐にわたって活動し、女性の地位向上に資することができた。		
課題・ 今後の方針	高齢化による会員数の減少が課題となっている。		
	☑ 継続　□ 廃止検討　□ 改善検討　□ 単年度		
評価委員の意見・評価等	・様々な活動に協力したり研修に励んだりしている。活動を広報等で紹介しながら会員の確保に努めてほしい。 ・会員減少に歯止めがかからず、役職交代もできずにいる現状。会員同士の交流の場を工夫し、楽しいをモットーに地域のボランティア活動にも積極的な参加を呼びかけている。 ・会員数は減少しているようだが、交流が最も大事であり、継続すべき。		

［生涯学習係］

名　　称	高齢者学習支援事業	決 算 額	436 千円
事業内容	一人ひとりが健康で、暮らしに潤いと活力を生むための学習機会の提供と環境づくりに努める。 実施事業：みたね大学の開設（町内 60 歳以上対象）		
実績報告	全体会を 5 回、コース別学習会を 6 コース×4 回開催し、延べ 100 名が参加した。 山本公民館：クアオルト、うたごえ喫茶 八竜公民館：まめでらが体操、色鉛筆画 琴丘公民館：ユニカール、手芸教室		
課題・ 今後の方針	アンケートなどにより参加者ニーズを把握し、より魅力的な学習内容を提供できるようにしていきたい。		
	☑ 継続　☐ 廃止検討　☐ 改善検討　☐ 単年度		
評価委員の意見・評価等	・各公民館でコース別学習会が計画的に開催されており、趣味や学び、人とのつながりなど生きがいづくりにつながっていると思うので、事業を継続してほしい。 ・身体を動かしたり指先を使う学習内容でよいので、継続してほしい。 ・高齢者の希望に沿った形で継続すべき。		

［生涯学習係］

名　　称	三種町町民祭（文化部門）	決 算 額	0 千円
事業内容	町民一人ひとりが作品の展示や発表を行い、日頃の成果を披露する機会とし、芸術文化の向上と振興を図る。		
実績報告	文化作品展示部門では学校関係 900 点と一般･芸文協から 468 点が出展された。 発表部門では一般・芸文協 11 団体、112 人が日頃の練習の成果をステージ上で披露し、また町内中学校吹奏楽部が迫力ある合同演奏を行い会場を盛り上げた。		
課題・ 今後の方針	作品出展や舞台発表など、日ごろの成果を多くの町民に披露する場となるとともに、今後も魅力ある町民祭をめざす。		
	☑ 継続　□ 廃止検討　□ 改善検討　□ 単年度		
評価委員の意見・評価等	・一般、芸文協の出展数とステージ発表は増えているので、今後もたくさんの人から参加してもらえるよう継続してほしい。 ・文化作品や発表部門での日ごろの成果を発表する機会は、町民が一堂に会するため、知り合いで知らない者でも感動を共有できる場である。 ・町の行事として活動成果の発表の場であり、継続すべき。		

［生涯学習係］

名　　称	三種町スポーツ・文化栄誉賞	決 算 額	311 千円
事業内容	スポーツ・文化の分野において、各種大会・コンクール等で優秀な成績を収めた町民を表彰し、意欲向上を推し進める。		
実績報告	スポーツ栄誉賞：50 個人、6 団体 文化栄誉賞：15 個人 特別賞：1 団体		
課題・ 今後の方針	近年は大会の種類が複雑化し、これまでの基準では授与の判断が難しくなっている。時代に合わせ授与基準を改正しながら、公平性を確保できるよう努める。		
	☑ 継続　☐ 廃止検討　☐ 改善検討　☐ 単年度		
評価委員の意見・評価等	・団体や個人の顕著な活躍を町民みんなで喜び合えるように、授与基準を明確にしながら継続することが必要。 ・継続でよい。 ・優秀な成績を収めた方々の表彰は必要であり、継続すべき。		

［スポーツ係］

名　　称	スポーツ振興事業	決 算 額	671 千円
事業内容	町民のスポーツ参加を促進する取組を通じて、成人の１年に一度以上スポーツを実施する割合を 100%に近づける。		
実績報告	スポーツの日は関係団体の協力のもと、クアオルトウォーキング、マレットゴルフ大会等を開催したほか、町内体育施設の無料開放を行った。みたねマラソン大会は、熊出没の影響により中止となった。 スポーツ教室は、小学生水泳教室（7 月～8 月）を計 8 回、バドミントン教室は募集をしたが、参加者不足のため中止となた。 三種町 8 人制バレーボール大会は 2 月 15 日に琴丘総合体育館で行われ、一般の部 16 チーム、シニアの部 3 チーム、約 300 人の参加があった。一般の部は林崎、シニアの部はじゅんくん・さいちゃんが優勝した。		
課題・ 今後の方針	町民が参加しやすいスポーツイベントやスポーツ教室を開催し、より多くの方が参加しやすい環境づくりに努めていきたい。 また、8 人制バレーボール大会の参加チームが増えるようＰＲに努めたい。		
	☑ 継続　☐ 廃止検討　☐ 改善検討　☐ 単年度		
評価委員の意見・評価等	・スポーツ大会や教室の企画数が多く、たくさんの町民が健康づくりとして参加しているので、今後も継続してほしい。 ・町民のスポーツ参加を促進する取り組みは継続してほしい。 ・スポーツに参加できる時期、場所等を考慮して継続すべき。		

［スポーツ係］

名　　称	三種町スポーツ推進委員会	決 算 額	530 千円
事業内容	本町のスポーツ振興のため、地域スポーツの推進役として町民へスポーツに関する指導及び助言等を行う。また、スポーツ推進委員としての資質向上に努める。		
実績報告	21 名の委員がスポーツの実技指導及び助言等に加え、スポーツ推進のため町民とのパイプ役として活動した。 長野県で開催された全国大会をはじめ、協議会主催事業に多数の委員が参加した。また、開催された 8 人制バレーボール大会では、大会運営の中心として運営に携わり、大会を成功に終えることができた。		
課題・ 今後の方針	各種大会等への参加について、参加者の偏りが見られる。多くの委員がそれぞれの立場で事業に参加できるように、育成や機会創出を図りたい。		
	☑ 継続　☐ 廃止検討　☐ 改善検討　☐ 単年度		
評価委員の意見・評価等	・推進委員の働きかけで、たくさんの町民がスポーツを通して健康づくりに参加できるように､引き続き継続することが必要。 ・課題の糸口を見出しながら会を継続してほしい。 ・スポーツ推進委員の活動は必要であり継続すべき。		

［スポーツ係］

名　　称	三種町スポーツ推進審議会	決 算 額	77 千円
事業内容	スポーツ推進に関する事項について調査審議し、教育委員会に建議する。		
実績報告	スポーツ推進審議会委員 9 名。6 月 30 日と 11 月 18 日の 2 回審議会を開催し、前審議会での意見・課題等の進捗状況の報告、町スポーツ全般の課題等について意見具申を行った。また、中学部活動地域移行検討委員会に会長が委嘱されていることから、会として意見の集約に努めた。		
課題・ 今後の方針	今後も町民と行政のパイプ役として、町民のスポーツニーズを把握し、スポーツの推進を図っていく。		
	☑ 継続　□ 廃止検討　□ 改善検討　□ 単年度		
評価委員の意見・評価等	・中学校の部活動地域移行についても、地域スポーツをよく知る委員の協力を得ながら進めていってほしい。 ・継続でよい。 ・審議会は最も重要な役割を担っており、継続すべき。（但し、委員にスポーツ推進委員が多いと思われる）		

［スポーツ係］

名　　称	八竜Ｂ＆Ｇ海洋センター	決 算 額	4,667 千円
事業内容	町民の海洋性スポーツ等の実践を通じて、青少年の心身の鍛錬、健全育成及び豊かな人間性の高揚に寄与する。		
実績報告	令和 7 年度は 6 月 28 日から 9 月 7 日まで開設し、利用者数 3,671 名、使用料収入 44,780 円であった。小学生水泳教室を計 8 回開催したほか、保育園・小学校の授業や一般利用で、多くの方からご利用いただいた。		
課題・ 今後の方針	センターインストラクターが 1 名以上いなければならないが、現在は他課の町職員で対応している。今後は、中長期的にインストラクターを務めることのできる者に資格取得させたい。		
	☑ 継続　□ 廃止検討　□ 改善検討　□ 単年度		
評価委員の意見・評価等	・資格を有する他課の町職員の協力が得られるような体制とともに、利用者の安全・安心を確保するための職員研修などが必要と思う。 ・利用者も多いので、継続して保育園児の水遊び、小学校の授業に役立ててほしい。 ・インストラクターの資格取得はかなり困難と思われるため、免許を所持している方で対応していくしかないと思われるが運営は継続すべき。		

［スポーツ係］

名　　称	地域スポーツクラブ事業	決 算 額	900 千円
事業内容	地域住民の健康維持､体力増進を支える環境づくりを推進し、スポーツを通じた地域づくりに寄与することを目的に、地域単位で多様なスポーツ事業を展開する。		
実績報告	地域住民の健康維持、体力増進を支える環境づくり、スポーツを通じた地域づくりを目指し、各地域スポーツクラブごとに様々な事業を実施した。		
課題・ 今後の方針	誰もが気軽に参加でき、多世代、多種目に対応したプログラムを企画できるように支援をしていきたい。		
	☑ 継続　□ 廃止検討　□ 改善検討　□ 単年度		
評価委員の 意見・評価 等	・心身の健康づくりとともに、地域の活性化に向けて事業を展開してほしい。 ・継続でよい。 ・各地域のスポーツクラブの活動は重要であり、様々な計画・立案で対応していただきたく継続すべき。		

［スポーツ係］

名　　称	三種町スポーツ・地域振興推進協議会	決 算 額	233 千円
事業内容	スポーツ合宿、スポーツ大会等を積極的に誘致開催することで地域活性化を図るとともに、スポーツ団体等とのスポーツ・地域振興を通じた相互連携により、様々な事業を展開しながらスポーツを活用したまちづくりに取り組む。		
実績報告	第 45 回東北高等学校ウエイトリフティング競技選手権大会告知用看板の設置を行った。また、ＪＲ秋田硬式野球部小学生野球教室や、ペッカーズカップ男子ミニバスケットボール三種大会を開催し、ホームページ等で情報発信を行った。		
課題・今後の方針	協議会内での意見を参考に、他団体とも協力しながら事業を展開し、スポーツによる町づくりに取り組みたい。		
	☑ 継続　☐ 廃止検討　☐ 改善検討　☐ 単年度		
評価委員の意見・評価等	・合宿や大会の誘致、スポーツ教室の開催など、各種団体の協力を得ながら継続してほしい。 ・事業内容、実績もよいので継続してほしい。 ・スポーツによる町づくり推進のため、継続すべき。		

［スポーツ係］

名　　称	日本体育大学・三種町推進協議会	決 算 額	501 千円
事業内容	日本体育大学と平成 27 年 10 月に締結した「体育・スポーツ振興に関する協定」に基づき、同大学と連携しながら、町民の体育・スポーツ及び健康づくりに関する事業等を行う。		
実績報告	日体大フェスティバル連携地域物産展に参加し、三種町の特産物をＰＲすることができた。また、「NITTAIDAI×自治体フォーラム」に参加し、連携自治体との交流を図ることができた。 講師派遣事業では、日本女子代表のヘッドコーチなどを務めた「内海知秀氏のバスケットボールクリニック」を開催し、町内の小中学生約 60 人が参加した。		
課題・ 今後の方針	町出身の同大学ＯＢ等の意見も参考に、大学とのパイプを活用し、町民に同大学の知見を実感してもらえるような多様な活動ができるよう努めたい。		
	☑ 継続　□ 廃止検討　□ 改善検討　□ 単年度		
評価委員の意見・評価等	・日体大との連携した事業は、町の活性化のためにも継続が必要。 ・継続でよい。 ・日体大との連携は大事であり、今までの流れを継続すべき。		

［スポーツ係］

名　　称	三種町スポーツ協会	決 算 額	2,851 千円
事業内容	町内におけるスポーツ団体の連携を図り、町民に対するスポーツ普及振興に期することを目的とする。		
実績報告	加盟 21 団体（会員数 746 名）が、それぞれの独自性を生かしたスポーツ事業を実施した。主催事業の研修（講習）会は開催できなかったが、新春懇談会は開催でき、加盟団体の交流を深めることができた。また、居合道連盟が会員数減少により活動継続が困難となり脱会した。		
課題・ 今後の方針	自主運営に向けて事務局体制の見直しを検討し、今後は自立できるよう支援をしていきたい。また、中学校部活動地域展開の受け皿の一つとして期待されることから、情報共有を図っていきたい。		
	☑ 継続　☐ 廃止検討　☐ 改善検討　☐ 単年度		
評価委員の意見・評価等	・中学校の部活動地域移行についても各団体と連携しながら事業を進めて欲しい。 ・中学校部活動地域展開は、課題をクリアするのは大変かと思うが、スポーツ協会でよい方向性が見いだせるよう期待している。 ・加盟団体の活動推進及び中学校の部活動地域展開のためにも、継続すべき。		

［スポーツ係］

名　　称	三種町スポーツ少年団	決 算 額	730 千円
事業内容	スポーツ少年団員が、地域でのスポーツ活動を中心とした集団的な活動の経験を通じて人間的成長ができるとともに、次代を担う青少年の育成を目的とする。		
実績報告	令和 7 年度は登録団数 10、団員数 138 名、指導者 46 名。主催事業の合同入団式を実施した。また、登録スポーツ少年団に育成費や指導者及び団員登録料の補助を行った。		
課題・ 今後の方針	冬期間の学校、公共体育施設の利用について各団間での調整が難しく、引き続き話し合いが必要である。また、少子化による団員数の減少により、種目ごとに団の合併が生じており送迎等の保護者の負担が増加している。		
	☑ 継続　☐ 廃止検討　☐ 改善検討　☐ 単年度		
評価委員の 意見・評価 等	・小学生の心身の成長と健康づくりのために、事業の継続が必要である。 ・課題の多いスポ少だが、保護者の負担が今より増加しないよう話し合いをしてほしい。 ・スポーツ少年団員数が年々減少しており、様々な問題点もあるが、活動したい子どもたちのためにも継続すべき。		

施策項目【〇社会教育推進体制の整備】

［生涯学習係］

名　　称	読書推進事業	決 算 額	928 千円
事業内容	新刊図書の購入、県立図書館と連携し図書整理を行い、町民の読書意欲、図書利用の向上を促す。		
実績報告	新刊図書は毎月購入し、ホームページで紹介している。県立図書館からの賃借事業の活用もあり、企画展示、装飾等充実しており、利用者の関心は高まってきている。 県の読書活動推進パートナー支援事業により、ゆめろんの休憩スペースに設置した「ぽかぽか図書コーナー」を、引き続き実施している。		
課題・ 今後の方針	新たな企画にも積極的に取り組み、利用しやすい図書室の環境整備に努めていきたい。		
	☑ 継続　□ 廃止検討　□ 改善検討　□ 単年度		
評価委員の意見・評価等	・新刊図書の購入や県立図書館からのスムーズな賃借、広報活動などとてもよく運営されている。さらに駅舎や気軽に立ち寄れるスペースへの図書の設置など広めていってほしい。 ・継続でよい。 ・町民の読書意欲向上に向けての事業は継続すべき。		

［生涯学習係］

名　　称	ブックスタート事業	決 算 額	67 千円
事業内容	赤ちゃんの心と言葉を育むために、優しく語りかけて向き合い、ことばと気持ちを通わせる時間が大切といわれている。ブックスタートは、そのかけがえのない時間を「絵本」を介して持つことを応援する運動。町の乳幼児健診で、4 ヵ月児、10 ヵ月児を対象に三種町の読み聞かせサポーター（登録 12 名）が絵本を読み聞かせ、「地域みんなで子育てを応援していますよ」というメッセージを伝え、絵本をプレゼントする。		
実績報告	年 6 回行われた乳幼児健診に合わせて実施。4 カ月児計 23 人に赤ちゃん絵本をプレゼントした。絵本の表紙裏には健診前に撮影した親子の写真を貼り付けて贈り、保護者からは好評を得た。		
課題・ 今後の方針	親と子が絵本を通じて心を通わせ、絵本により豊かな心を育むきっかけ作りのため、事業を継続する。 また地域で子育てを応援する一事業としての役割を果たしていきたい。		
	☑ 継続　☐ 廃止検討　☐ 改善検討　☐ 単年度		
評価委員の意見・評価等	・絵本の読み聞かせや親子の写真を貼り付けた絵本を贈るなど、温かく幸せを感じるような事業として今後も継続してほしい。広報やホームページを活用して事業を広く紹介することで『住みたいまち』につながると思う。 ・ブックスタートは、乳幼児健診と抱き合わせにしているので非常によい事業であり、継続してほしい。 ・子育て支援のための事業であり継続すべき。		

主要施策３【芸術文化活動の振興と郷土芸能等の継承】

施策項目【〇芸術文化活動の推進】

［生涯学習係］

名　　称	三種町音楽演奏会	決 算 額	193 千円
事業内容	町の芸術文化の向上と振興を図るため、秋田大学吹奏楽団と町内中学校の吹奏楽部が合同演奏を行う。		
実績報告	令和８年２月８日（日）琴丘総合体育館メインアリーナを会場に開催した。中学生・大学生それぞれの演奏に加え、合同演奏を行い、約 120 名の観客を魅了した。		
課題・ 今後の方針	秋田大学吹奏楽部や三種中学校と連絡を取りながら、開催に向けて準備を進める。		
	☑ 継続　□ 廃止検討　□ 改善検討　□ 単年度		
評価委員の意見・評価等	・中学生にとっては大学生との演奏を通して技術の向上だけでなく、将来の自分を見つける活動でもあると思うので、工夫しながら継続してほしい。 ・非常に良い企画で、タイミングが合わず会場に行けなかったが、参加した方の感想は好評で、実績報告にある観客数とマッチしていると思う。 ・大学生との合同演奏は素晴らしいことであり継続すべき。		

［生涯学習係］

名　　称	三種町芸術鑑賞会	決 算 額	1,523 千円
事業内容	芸術鑑賞により、多様な芸術や文化に親しむことで知見を深め、新しい価値観を学んだり、生涯忘れられない思い出を作ることで、豊かな心と生きる力を育む。		
実績報告	11 月 3 日（月）山本ふるさと文化館で開催。月亭方正・きり亭たん方の落語二人会を上演し、演目「時うどん」や「茗荷宿」が披露され、約 200 名が鑑賞した。		
課題・ 今後の方針	多くの方に興味を持ってもらえるよう、時代に適合した町民のニーズに応えるべく公演内容を企画し、継続していきたい。		
	☑ 継続　□ 廃止検討　□ 改善検討　□ 単年度		
評価委員の 意見・評価 等	・町民も楽しみにしている事業なので、継続してほしい。 ・継続でよい。 ・ＰＲを多くし、鑑賞者を増やす努力をしていただき継続すべき。		

施策項目【〇郷土芸能の保存と継承、文化財に親しむ機会の提供】

［生涯学習係］

名　　称	文化振興事業	決 算 額	5,604 千円
事業内容	文化財の保護と活用の促進、郷土芸能・伝統文化の保護、文化財資料の整理収蔵を目的とし、文化財の保護と文化財に親しむ機会を作る。		
実績報告	町指定文化財の保護、天然記念物カモシカ対応、各種団体への補助（芸術文化協会、民俗芸能団体、国指定重要文化財大山家、農村歌舞伎会館、じゅんさい音頭推進協議会、北涯俳句大会）を行った。 また補助金交付のほか、後継者不足の対策として、地域を問わず演者を体験できる記事を広報に掲載し努めた。 「伝統芸能の祭典 in みたね」は、9 月 7 日昼の部、9 月 14 日夜の部を開催し、町内外の民俗文化や伝統芸能団体と交流。技術の向上や継承への意識を高めた。 芸術文化祭は、7 月 17 日から 7 月 19 日まで展示部門、7 月 20 日に舞台部門を開催し、団体間の交流と成果を披露した。		
課題・ 今後の方針	団体との連携を密にしながら、今後も民俗芸能団体等の育成活動の奨励に努めていきたい。		
	☑ 継続　☐ 廃止検討　☐ 改善検討　☐ 単年度		
評価委員の意見・評価等	・文化財の保護と活用、各団体の文化的な活動を支援するためにも継続は必要。 ・町に必要な文化振興事業なので、団体との連携や育成活動に援助してほしい。 ・文化財保護及び文化財に親しむ機会は必要で継続すべき。		

3　教育委員会の運営状況

1　会議開催状況

（1）三種町教育委員会（定例会 12 回）（臨時会 1 回）

第 2 回臨時会　令和 7 年 4 月 3 日（木）
　議案第 11 号　三種町教育支援スタッフ設置要綱の制定について

第 4 回定例会　令和 7 年 4 月 25 日（金）
　議案第 12 号　三種町立小・中学校統合検討委員会設置要綱の一部改正について
　議案第 13 号　学校医・学校薬剤師の委嘱について
　議案第 14 号　三種町教育支援委員会委員の委嘱について
　議案第 15 号　三種町学校給食運営委員の委嘱について
　議案第 16 号　令和 7 年度三種町幼保小連携推進協議会委員の委嘱について
　議案第 17 号　三種町スポーツ推進委員の委嘱について
　議案第 18 号　三種町地域学校協働活動推進委員の委嘱について
　議案第 19 号　三種町学校運営協議会委員の委嘱について
　議案第 20 号　三種町立中学校部活動地域移行検討委員会委員の委嘱について

第 5 回定例会　令和 7 年 5 月 22 日（木）
　議案第 21 号　夏季休業中の「学校閉庁日」の設定について
　議案第 22 号　三種町社会教育委員兼公民館運営審議会委員の委嘱について
　協議　1　　令和 7 年度卒業式について

第 6 回定例会　令和 7 年 6 月 27 日（金）
　議案第 23 号　三種町教育委員会事務点検・評価委員の委嘱について
　議案第 24 号　三種町スポーツ文化合宿等誘致推進事業実施要綱の一部改正について
　議案第 25 号　三種町立統合小学校に係る校章デザイン募集要領の制定について

第 7 回定例会　令和 7 年 7 月 25 日（金）
　報告　1　　三種町教育情報セキュリティポリシーの制定について

第 8 回定例会　令和 7 年 8 月 26 日（火）

議案第 26 号　三種町立統合小学校校章選考委員会設置要綱の制定について

協議　1　　三種町教育委員会訪問　教育委員の参観について

報告　1　　令和 6 年度事業三種町教育委員会事務点検・評価報告書について

報告　2　　全国学力・学習状況調査の結果について

報告　3　　8 月臨時議会・全員協議会について

第 9 回定例会　令和 7 年 9 月 24 日（水）

報告　1　　第 2 回三種町立小・中学校統合検討委員会

報告　2　　9 月議会定例会

報告　3　　全員協議会

第 10 回定例会　令和 7 年 10 月 21 日（火）

報告　1　　第 2 回三種町立中学校部活動地域移行検討委員会について

報告　2　　臨時議会について

第 11 回定例会　令和 7 年 11 月 18 日（火）

議案第 27 号　三種町立小中学校管理規則の改正について

報告　1　　三種町立学校設置条例の一部改正について

報告　2　　通学路における合同点検状況について

第 12 回定例会　令和 7 年 12 月 16 日（火）

議案第 28 号　三種町学校給食における食物アレルギー対応指針の策定について

議案第 29 号　三種町学校給食アレルギー等対応食実施要綱の策定について

協議　1　　令和 8 年度入学式について

報告　1　　体育館の休館日の変更について

報告　2　　クマ出没による体育施設の一部無料開放について

報告　3　　12 月議会について

第１回定例会　令和８年１月 27 日（火）

議案第１号　三種町学校給食費無償化実施要綱の廃止について

議案第２号　三種町立学校給食共同調理場の管理及び運営に関する規則の一部改正について

議案第３号　三種町学校給食費補助金交付要綱の一部改正について

議案第４号　三種町スポーツ・文化栄誉賞受賞者の選考について

議案第５号　三種町立山本小学校及び八竜中学校の校章について

議案第６号　三種町立山本小学校及び八竜中学校の校歌について

報告　１　　令和８年第１回三種町議会臨時会について

報告　２　　令和７年度卒業式・令和８年度入学式出席者案について

報告　３　　秋田県学習状況調査について

第２回定例会　令和８年２月 17 日（火）

承認　１　　就学援助の要保護・準要保護の認定について

議案第７号　三種町立小中学校通学区域に関する規則の一部を改正する規則について

議案第８号　三種町立学校水泳プールの管理及び運営に関する一部を改正する規則について

議案第９号　三種町教育委員会の公印に関する規程の一部を改正する訓令について

議案第 10 号　三種町スポーツ・文化栄誉賞受賞者の追加について

第３回定例会　令和８年３月 16 日（月）

承認　２　　就学援助の要保護・準用保護の認定について

議案第 11 号　三種町教育委員会が所管する施設における防犯カメラの設置及び管理運営に関する要綱の一部改正について

議案第 12 号　三種中学校部活動地域展開推進実行委員会設置要綱の制定について

議案第 13 号　三種町中学校部活動地域展開推進計画（案）について

議案第 14 号　三種町立学校の教育職員に関する業務量管理・健康確保措置実施計画（案）について

議案第 15 号　三種町学校運営協議会の設置等に関する規則の一部改正について

議案第 16 号　三種町スポーツ・文化栄誉賞受賞者の追加について

報告　１　　議会全員協議会・３月定例議会について

(2) 三種町立小・中学校統合検討委員会

第 1 回検討委員会　令和 7 年 5 月 29 日（木）

協議　1　　これまでの経緯について

協議　2　　統合中学校に関する協議内容について

1）令和 7 年度の開校準備「班編成」及び「作業内容」について

2）教務部会各班の話し合い状況について

協議　3　　統合小学校に関する協議内容について

1）令和 7 年度の開校準備「班編成」及び「作業内容」について

2）校章の選定方法について

3）校歌の選定方法について

4）統合小学校等施設改修について

協議　4　　スクールバスについて

第 2 回検討委員会　令和 7 年 8 月 29 日（金）

協議　1　　統合小学校に関する事項について

1）校章の応募結果とデザイン候補の選考について

2）校歌の応募結果と作詞・作曲者について

3）教務部会からの報告等について

協議　2　　統合中学校に関する事項について

1）各部会からの報告等について

第 3 回検討委員会（報告事項について資料送付）　令和 7 年 11 月 27 日（木）通知

報告　1　　統合小学校に関する事項について

1）校章デザイン候補の第 2 次選考結果について

報告　2　　統合中学校に関する事項について

1）各部会からの報告等について

第 4 回検討委員会　令和 8 年 1 月 20 日（火）

協議　1　　統合小学校に関する事項について

1）校章・校歌について

2）教務部会からの報告等について

3）令和 8 年度の開校準備（作業内容及びスケジュール）について

協議　2　　統合中学校に関する事項について

1）三種中学校建築状況について

2）スクールバス運行について

3）教務部会からの報告等について

4）今後のスケジュールについて

(3) 統合中学校ワークショップ

第 1 回統合中学校ワークショップ（生徒対象）

令和 8 年 1 月 28 日（水）琴丘中・山本中　　29 日（木）八竜中

テーマ：３D モデル制作&ショートムービー制作

内　容：①空間保存の技術と体験　②表現力と芸術性の育成

参加者：各中学校 2 年生

第 2 回統合中学校ワークショップ（教職員対象）

令和 8 年 2 月 24 日（火）会場：八竜中

テーマ：STEAM 研修

内　容：講義、体験ワーク、質疑応答

参加者：三種町小中学校教職員

(4) 三種町立中学校部活動地域移行検討委員会

第 1 回検討委員会　令和 7 年 6 月 25 日（水）

協議　1　令和 6 年度の振り返り

協議　2　令和 7 年度部活動の加入状況について

協議　3　令和 7 年度のスケジュール（案）について

第 2 回検討委員会　令和 7 年 10 月 15 日（水）

協議　1　三種町モデル（案）の検討（グループワーク）、グループ意見発表

第 3 回検討委員会　令和 8 年 2 月 26 日（木）

協議　1　三種町中学校部活動地域展開推進計画（案）について

(5) 教育委員の活動状況

令和 7 年 4 月 7 日　令和 7 年度　小・中学校入学式

4 月 21 日　令和 7 年度　秋田県町村教育長会定期総会（井川町公民館）

5 月 13 日　全国町村教育長会（東京都）～14 日

5 月 20 日　東北町村教育長連絡協議会定期総会（サンルーラル大潟）

5 月 28 日　能代山本市町村教育委員会連合会総会（能代市二ツ井町庁舎）

6 月 19 日　学校訪問（山本出張所長・副主幹・教育長・教育委員）～7 月 15 日

9 月 3 日　三種町教育委員会訪問（教育長　教育委員）～10 月 31 日（各小中学校）

10 月 16 日　秋田県町村教育長研修会（美郷町）～17 日

10 月 24 日　能代山本市町村教育委員会連合委員研修会（八峰町）

11 月 5 日　県北教育長会議（森吉コミュニティセンター）

11 月 5 日　秋田県市町村教育委員会連合会及び秋田県郡市教育長協議会合同研修会（秋田市役所）

11 月 6 日　全県市町村教育委員会教育長会議（秋田市）

令和 8 年 3 月 7 日　令和 7 年度中学校卒業式

3 月 14 日　令和 7 年度小学校卒業式

令和７年度事業三種町教育委員会　事務点検・評価報告書

事務点検・評価委員

工　藤　昭　子（鹿渡）

島　田　純　二（森岳）

畠　山　篤　美（芦崎）

令和７年度事業
三種町教育委員会事務点検・評価報告書
〒０１８－２１０４
秋田県三種町鹿渡字東二本柳２９－３
三種町教育委員会
ＴＥＬ　０１８５－８７－２１１３
ＦＡＸ　０１８５－８７－３０５２